



# 2026年3月期 通期業績予想の修正 説明資料

Kudan株式会社（東証グロース：4425）  
2026年3月3日

# 通期業績予想の修正



- 10月31日公表の上方修正<sup>1</sup>以降、更にデジタルツイン向けやSW/HWパッケージが伸長しており、加えて大型案件の売上確定プロセスが進捗したことにより、売上・利益の通期業績を再度上方修正
- フィジカルAI市場の本格化に伴う官民投資の加速を背景に売上が好調に伸長し、赤字も改善

[百万円]	前期実績	今期予想			修正前との主な差分	前期との主な差分
		修正前 (期首時点)	修正前 (10月時点)	修正後 (最新)		
売上高	517	517	920~1,020	1,100	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルツイン向けの売上増</li> <li>SW/HWパッケージの売上増</li> </ul>	
営業利益	△800	△780	△770~△730	△680	<ul style="list-style-type: none"> <li>業績拡大による利益増 (約+80百万円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業績拡大による利益増 (約+240百万円)</li> <li>固定費増<sup>3</sup> (約△70百万円)</li> <li>欧州R&amp;D補助金増 (約+10百万円)</li> </ul>
調整後営業利益 <sup>2</sup>	△753	△720	△720~△680	△620		

1. 過去資料 [2026年3月期 通期業績予想の修正 説明資料](#) を参照  
 2. 営業利益（損失）に毎期経常的に発生する政府からの研究開発補助金収入を加えた、事業収益性の指標となる利益数値  
 3. 前期下期からの持ち越しによる一時増、今期末までにコスト構造は改善予定、過去資料 [2026年3月期 通期業績予想の修正 説明資料](#) のP4~5を参照

## 本資料の取り扱いについて

本資料は、当社の事業および業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまとっています。

すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、現時点において、利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報及び第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、そのデータ・指標等の正確性・適切性等について、当社は独自の検証は行っておらず、何らその責任を負うことはできません。